

ニュース

みんなで作ろう！
しまやけいせき
下宅部遺跡はっけんのもり

第83号【'08-5月号】

発行：下宅部遺跡
はっけんのもりを育てる会
東村山市諏訪町1-6-3
TEL：042-396-3800
発行日：平成20年5月13日

第74回育てる会 研修見学会

吉見町 埋蔵文化財センター
吉見百穴
寄居町 鉢形城跡

メニュー	料金	所要時間	備考
勾玉づくり	350円	約40分～1時間	古代人のアクセサリーである勾玉（まがたま）を天然石で作ります。
琥珀勾玉携帯ストラップづくり	1,000円	1時間～1時間半	再生琥珀を使い、勾玉の形をした携帯ストラップを作ります。自分だけのオリジナルストラップとなります。
埴輪づくり	500円	約1時間～2時間程度	古墳時代を象徴する埴輪。躍動感あふれる『踊るハニワ』などを作ります。製作後、1ヶ月ほど乾燥させた後、焼き上げてお渡します。（取りに来られない方には、焼き上がり後、宅配便等で送りますので、ご相談ください。）

吉見町埋蔵文化財センター 体験メニュー



吉見百穴

平成20年6月22日（日）の第74回育てる会は研修見学会です。今回は埼玉県吉見町と寄居町を見学します。「吉見百穴」は、歴史の授業で必ず習う、超有名な遺跡です。発見当初はどんな遺跡であるのか、諸説が立てら

れましたが、最終的には古墳時代の横穴墓であるということが明らかになりました。

「吉見町埋蔵文化財センター」はこの「吉見百穴」の隣にあります。ここでは、吉見町の発掘調査成果を展示しています。今回の目玉は「古代の漆かき痕跡を持つ杭」の見学です。下宅部遺跡出土資料との比較が楽しめます。また、年中無休、予約無しで各種の体験が出来ることも驚きです。この体験もプログラムに入っていますので、何をするか決めておいてください。

寄居町の国指定史跡「鉢形城跡」は中世城郭です。荒川から切り立った断崖は圧巻、まさに天然の要害です。整備された城跡と資料館を見学します。

なお、この研修見学会は、育てる会会員のスキルアップのための企画ですが、バスの席に若干の余裕がありますので、会員以外の方の参加も歓迎いたします。お申し込みにつきましては、



鉢形城フィールドマップ

ふるさと歴史館までお問い合わせ下さい
（042-396-3800）。

開催日 平成20年6月22日（日）
集合場所 東村山市民センター前
出発 午前8時
帰着 午後5時
会費 会員700円・一般1200円
昼食 松音屋（予定）各自負担



火起こし



あんぎん編み



石皿体験

下宅部遺跡 はっけんのもり 4歳お誕生日会 5月18日(日)



紙芝居

メインテーマ 縄文体験塾Part II

時間	開会	縄文人になって遊ぼう！						下宅部遺跡を知ろう！ はっけんのもりを知ろう！		縄文食	縄文 紙芝居	縄文音楽隊		販売関係					ふれ炭火
		土版づくり	狩り(弓矢)体験	火おこし体験	あんぎん編み(縄文布)	縄文人に変身	石皿体験	下宅部遺跡資料展示	育てる会活動土器部会 あんぎん編み部会	縄文スープ試食体験	オリジナル紙芝居	オカリナ	縄文太鼓	報告書図録販売	土偶パン 150円	クッキー 350円	絵はがきはっけんのもりの四季200円	縄文布 壁掛け300円 コースター100円	土笛 100円
10:00	●開始	●開始	●開始	●開始	●開始	●開始	●開始	●開始							●開始	(なくなり次第終了)			●開始
10:30			●開始																
11:00																			
11:30		●終了		●終了						●開始									
12:00			●終了								●開始								
12:30				●開始															
13:00			●開始		●開始					●終了	●終了								
13:30				●終了	●終了														
14:00			●終了		●開始														
14:30					●終了														
15:00	●閉会				●終了			●撤収	●撤収										●撤収



オカリナ演奏



縄文布壁掛け



縄文太鼓演奏



縄文スープ



土笛

野焼きあれこれ

底まできれいに焼くには

4月19日(土)の土器の野焼きは、前日まで雨天という悪条件にも関わらず、ひとつも割らずに焼き上げることができた。

濡れた地面は、焚き火をしつかりと行うことで十分に乾燥させることができた。通常はこの間、焚き火の周りで土器の最終乾燥を行うが、水蒸気が上がるため、今回は行わなかった。その代わり、焚き火を三つに分けて、その中央に土器を並べた後は、周りからの予熱を十分に行った。最終的な焼き



周囲から十分に熱する

上がりの時間はいつもと変わらず、午後3時過ぎには撤収を完了した。

今回野焼きをした土器は、これまでの土器とともに、ふるさと歴史館の中庭に展示してある。中庭には屋根がなく、雨が降れば土器の中に雨水がたまる。以前から展示してある土器の中に



①雨ざらしの中庭の土器



②雨水で融けてできた底部の穴

は、融け崩れて原型をとどめないものや、底が抜けてしまったものがある。

写真①の土器は、上半部分はよく焼きあがっているが、下半部分は焼きが甘く、底が抜けている(写真②)。

焼成の時に、普通に立てて並べると、底が地面に密着し、熱が回らない現象が起きる。その結果、底だけが真っ黒になった土器が焼きあがってしまつた。そのことは承知していたが、途中で傾けると、他の土器と接触して割れてしまつ恐れがあり、やむなしとしていた。

しかし今回は、途中で土器を傾け、底にも直に熱が当たるようにした。ニュース81号で紹介したように、今回の土器は全て下宅部遺跡から採取した粘土で作っている。割れにくい粘土だからこそ途中で傾けることができた。

今回は、薪を敷き並べた上に、土器を傾けたり横倒しの状態で並べ、焼いてみようと思う。(千葉)

育てる会 会員募集

みなさんも育てる会の仲間たちと一緒に、下宅部遺跡はっけんのもりを成長させませんか？

- 正会員：会費年間1200円
- 通信会員：会費80円切手12枚
- お申し込み：ふるさと歴史館

☎042(396)3800まで

育てる会

今後の予定

- 5月18日(日) 午前10時から
第73回育てる会
- 「はっけんのもり4歳お誕生日会」
(はっけんのもり)
- 5月24日(土) 午前9時から
除草・清掃作業(はっけんのもり)
- 5月25日(日) 午後1時30分から
縄文土器部会(ふるさと歴史館)
- 2月27日(火) 午後1時30分から
縄文アンギン部会(ふるさと歴史館)
- 6月1日(日) 午後1時30分から
縄文土器部会(ふるさと歴史館)
- 6月3日(火) 午後1時30分から
縄文アンギン部会(ふるさと歴史館)
- 6月4日(水) 午後7時30分から
定例検討会議(ふるさと歴史館)
- 6月10日(火) 午後1時30分から
ニュース印刷発行(ふるさと歴史館)
- 6月14日(土) 午前9時から
除草・清掃作業(はっけんのもり)
- 6月22日(日) 午前8時から
第74回育てる会「研修見学会」
(吉見町埋蔵文化財センター)
- 6月28日(土) 午前9時から
除草・清掃作業(はっけんのもり)